

方針とマネジメント

地域の方々に信頼され、親しまれる企業であるために、各地でさまざまな社会貢献活動を続けています

基本的な考え方

日本製紙グループは社会の一員として社会全体の発展に貢献したいと考えています。必要とされる製品の供給を続けるとともに、地球環境の保護、文化や地域社会の発展にも役立ちたい——そのための活動を積み重ねていくことが、社会から信頼を得て、地域と共生しながら事業活動を続けていくことにつながります。

国内外でのさまざまな取り組みは、工場周辺の清掃活動、植林地域での就業支援など地域に根ざした活動や、社有林を活用した「森と紙のなかよし学校」の開催、工場見学など、グループの資源を活かした活動にも及びます。

社会貢献活動の理念と基本方針

(2004年4月1日制定)

理念

私たちは社会の一員として、誇りを持って社会全体の発展に貢献する活動を行います。

基本方針

- 1.文化の継承・発展に寄与する活動を行います
- 2.地球環境の保護・改善に貢献する活動を行います
- 3.地域社会の発展に役立つ活動を行います

具体的な活動テーマ

- グループ各社の工場および海外現地法人における地域活動の充実
- グループの専門性や資源を活かした活動の推進
- 従業員が主体となって取り組む社会貢献活動の推進
- 日本国内の社有林(約9万ヘクタール)の有効活用
- 社内外への積極的な広報活動

社会貢献活動の推進体制

日本製紙グループとしての社会貢献活動は、日本製紙(株)CSR本部が事務局となって推進しています。国内社有林に関連する活動が中心で、例えば、「森と紙のなかよし学校」や「シラネアオイを守る会」への社員ボランティアの参加、(公財)日本野鳥の会との共同調査および西表島での外来植物駆除活動などは、CSR本部が事務局として毎年の活動計画を管理しています。また、2019年秋から日本製紙(株)の本社オフィスでの使用済み紙コップ回収リサイクルを開始するなど、新規活動の検討・実施も担当しています。

日本製紙(株)の工場およびグループ各社においては、社会貢献活動の担当者がそれぞれの地域に根差した活動を継続して実施しています。CSR本部は、工場・グループ会社と連携し、各活動状況を把握するとともに、社会貢献活動の実施状況を日本製紙(株)の取締役会に報告しています。

